

令和2年度 地域別市民意見交換会

今年度の地域別市民意見交換会は

議会では、令和2年11月4日から27日にかけて、市内13地域で地域別市民意見交換会を開催しました。今回の開催については、広報広聴委員会において、開催の是非について協議しました。その中で、コロナ禍であるからこそ、議会は地域に寄り添い、市民意見を市政に伝えるべきと判断し、各まち協と協議するなか開催方法を工夫し、感染防止のガイドラインに基づき、感染拡大防止の取り組みを実施しながら開催しました。

議会の考えの掲載

議会では、地域別市民意見交換会でいただいた多くの市民意見を、所管する常任委員会等に割り振り、全議員で確認する場(全員協議会)を経て、主なご意見に対する現時点での市議会の考えとして取りまとめました。

※今号は抜粋して掲載しています。一覧表形式のまとめは、市ホームページをご参照ください。なお、ホームページを閲覧できる環境のない方は、右記までご連絡ください。別途対応させていただきます。

連絡先 高山市議会事務局
電話 ● 0577-35-3152

一覧表形式
市ホームページ



① コロナ感染症・地域医療

市民

- 新型コロナウイルス感染症の医療体制、介護施設の体制が脆弱ではないか。
- 市内で新型コロナウイルス感染者が出た時に差別や人権侵害が起こると思うが対策は。
- インフルエンザ予防接種費用の助成と子ども医療費助成の対象者の範囲が近隣市と比較し狭いため拡大できないか。



- 感染防止体制の確立や医療・介護施設への支援体制は重要な課題であると捉えており、医療従事者等が危機に陥らないよう状況に応じた医療・相談体制、ケア体制の充実とともに、コロナハラスメントの防止にも引き続き取り組みます。
- 医療費等の助成制度については、他市の事例も参考に、子育て支援、高齢者福祉など幅広い視点からより良い制度となるよう調査研究します。

議会

② 人口減少対策

市民

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地方への分散型社会やリモートワークの取り組みによる移住、空き家の活用などで人口減少の歯止めに期待が持てるといった話が出ているが。
- 少子高齢化が進むなか、移住者を増やす対策はないのか。



お試しサテライトオフィス

- コロナ禍において、リモートワークが拡大する現状を移住促進の好機として捉えており、サテライトオフィスの誘致や各種移住支援制度のほか、有効な移住施策について議論を深めます。

議会